

地球の資源を守るためには

最近テレビで、食品が大量に捨てられているのを見た。よく見ると、まだ食べられるのに捨てられているものが多かた。どうしたら、たくさん食品を無駄にしないで済むのだろうか。また、地球の資源を使いすぎないようにするにはどうしたらよいか。

日本では、食べ残しや賞味期限切れなど、まだ食べられるのに捨てられる食品ロスが問題になっている。「世界の食料支援量と日本の食品廃棄量」という図をみると、世界が、飢えに苦しむ国や地域に援助している食べものの量が、約420万トンに対して日本がムダにしている食べものの量は約612万トン。およそ1.5倍である。食品ロスを減らすためには、私たち一人一人の努力が必要だと思ふ。例えば食べ残しを減らしたり、必要な分だけ買ったりすることです。でも食品をむだにしないで済むと思ふ。

1970年以降、地球の生態系が一年間に生み出すことができる資源よ

世界の食料支援と日本の食品廃棄量



り、人類全体が一年間暮らしていただくために消費する資源の量の方が多い状態が続いている。大量生産・大量消費をし、魚を取りすぎたり、木を切りすぎたり、未来のエネルギーを使いすぎたのが原因である。

まずは、エネルギーを再生可能エネルギーにかえたり、大量生産・大量消費を少なくすること、今ある資源をたくさん使わなくつすむのではないかと思う。

確かに、今は食品も石油などのエネルギーもたくさんあり困ることはない。しかし、このまま食品をもだにし、石油などの限りのある資源をたくさんつかえば地球上にある資源以外にたよらないと生活していけなくなってしまうだろう。そうならないためにも、今の自分たちの生活を見直したり、再生可能エネルギーを利用したりすることが大切だと思う。